

わたしたちがでるじゅ

富士市内小学校

佐野 さん

以前お母さんが見せてくれた動画に私は衝撃を受けました。それはストローが鼻にささった海がめを助けるものでした。この動画を見てから、私は家でも外食の時もストローを使うのをやめました。そして最近は一ニール袋を食べた奈良の鹿が死んだという記事も読みました。いかに多くのゴミが不適切な場所に捨てられているかがわかり、生き物を傷つけていることを知りました。これらのことから私はプラスチックゴミの削減について考えてみようと思いました。

まず私は、自分の家でどんな種類のプラスチックゴミがどれくらい出るのか、十日間調べてみました。今まではあまりプラスチックゴミの仕分けについて考えてなく、お母さんに任せることが多かったけど、素材でプラスチックかどうか考えたり、プラマークを確認するようにになりました。私の家では十日間で三十リットルの袋に目一杯の量のゴミが出て、食品から日用品において思った以上に多くあるのだとわかりました。

私はその中で、必要のないものと削減できるものについて考えてみました。必要のないものとしては、お菓子やめん類によく見られるトシ

イです。見映えや型崩れを防ぐためのものだと思うのですが、私は必要ないと思いました。トレイをなくすことで外の袋も小さくすることができます。お弁当用の冷凍食品も個分けトレイがなくても、お皿にのせて温めればいいのです。

削減できるものとしては、まずスーパーの惣菜売り場で使われる持ち帰り用のパックです。私はこれをエコバックやかごのように透明のエコタッパーにしたらいと思います。透明にすることで中に入っている物はわかるし、大量のパック削減になります。次にお母さんがよく飲んでいる一回使い切りの個分けにされたコーヒーです。チャック付きの袋に替えれば余計なゴミは出ません。他には食べ切りのヨーグルトのカップを紙の容器に替えたり、本を買った時に入れてもらうビニール袋を紙の袋に替えたり、調味料やペットボトルのラベルを紙に替えたりとプラスチックを削減したり、違うものに代替えることができると思います。個分けにすることは消費者にとってはとても便利です。でも利便さを求めることがプラスチックゴミを増やしている一つの原因でもあると思います。

一つの家庭でこれだけのプラスチックゴミが出るということは、日本中で計り知れないほどの量が出ているということです。処理する上でリサイクルも大切ですが、まず消費者と作る側が共に、いかにプラスチックゴミを減らせるかを考え、理解・納得して、実行していくこ

とが大事だと思いました。また何よりもゴミを捨てる場所をしっかりと守ることが環境や生態系を守ることにつながるので、一人一人が心がけていくべきだと思います。